

「集中管理ゲート」によりターミナルゲート前の混雑を抜本的に解消 ～「コンテナターミナルゲートの効率化の手引き」を公開～

中部地方整備局港湾空港部では、コンテナターミナルにおけるトレーラーの渋滞解消・物流の効率化を進めるため、名古屋港飛島ふ頭に「集中管理ゲート」を設置し、効果検証を進めてきました。その結果、ターミナルゲート前の渋滞を抜本的に解消することが出来ました。

また、効果検証を進めていく中で得られた知見や取り組みをまとめた手引書を作成し、本日より港湾空港部ホームページで公開を開始しました。

1. 概要

多くの海上コンテナ貨物が集まるふ頭エリアにおいて、コンテナターミナルゲートではコンテナの搬入・搬出を行うために多くのトレーラーが集中し、ふ頭内道路の慢性的な渋滞により物流効率が悪くなることが課題となっております。

そこで、中部地方整備局港湾空港部では、平成23年度より名古屋港管理組合及び名古屋港運協会と連携し、名古屋港飛島ふ頭において各々のコンテナターミナルが個別で行っていた作業・手続きを集約した「集中管理ゲート」の実証実験を行い、昨年度まで「名古屋港飛島ふ頭物流効率化検討委員会」（委員長：山本幸司 名古屋工業大学名誉教授）において効果検証を行ってきたところです。その結果、ターミナルゲート前の渋滞を抜本的に解消することが出来ました。

また、今般、この実験により得られた知見などの成果や取り組みをとりまとめた「コンテナターミナルゲートの効率化の手引き」（以下、手引書）を作成し、港湾空港部HPで公開を開始しました。

この手引書は、同じような課題を抱えた港湾管理者や事業者の皆様が、課題解決のための参考として活用することを目的に作成しており、各港湾における実務者のニーズに応じた使用が可能となっております。

【手引書の特長】

- 各港湾のコンテナターミナルが抱える課題を解決するために付与する機能を体系化。
- 機能ごとに解決のメカニズム、実施計画及び効果と評価指標を整理。
- 名古屋港飛島ふ頭の取り組みを具体例として盛り込み、分かりやすいものとした。

2. 手引書の公開

手引書は本日より下記ページにて公開を開始しております。

中部地方整備局港湾空港部HP <http://www.pa.cbr.mlit.go.jp/16540/>

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ
港湾新聞社、港湾空港タイムス、海事プレス、日本海事新聞社、
マリタイムデーリーニュース

4. 問合せ先 中部地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室
室長 赤石 正廣（あかいし まさひろ）
課長補佐 大平 勝司（おおひら かつじ）
TEL 052-209-6330 FAX 052-203-9739

「集中管理ゲート」導入によるゲート前混雑の解消

名古屋港飛島ふ頭地区では、貨物搬出入トレーラーのターミナルゲートでの混雑解消のため、集中管理ゲートを導入し、搬出入処理を一括して実施。集中管理ゲートの導入により、ターミナルゲート前のトレーラー滞留の解消したほか、所要時間が短縮・平準化し輸送信頼性が飛躍的に改善。

<導入目的と効果>

導入目的	整備前(ターミナルゲート)	整備後(集中管理ゲート)
①ゲート前の渋滞の解消	ゲート前の公道上でトレーラーが滞留 →交通を阻害	ゲート内待機スペースでの滞留 →道路交通への影響無し
②ゲート処理のための設備・人員の集中化による混雑の抑制	ターミナルや時間帯によつての混雑状況にバラツキが大きい →ふ頭全体の効率性が低い	ばらつきの平準化とターミナルゲート処理の簡素化 →ふ頭全体の物流効率が向上
③コンテナ蔵置場所調整に起因する遅延の抑制	ゲート受付時に蔵置場所が決定される →ゲートにて車両は待機	トレーラーの移動中にターミナル側で蔵置場所を決定することが可能 →荷役作業が迅速化

<設置位置>

